

2009 年度「プラズマ物理学」レポート課題

2009/7/15 牧島一夫

<http://www-utheal.phys.s.u-tokyo.ac.jp/~maxima> にも掲載

○レポート課題

「プラズマ物理学」の講義のうち、もっとも興味をもった部分およそ1日分を選び、その内容を A4 用紙 4 ページ以内に自分の「講義ノートのまとめ」として書き改め、該当部分の講義ノート（まとめ直す前のもの）のコピーと一緒に、綴じて提出せよ。まとめ直した方は、以下のような観点から、内容を充実させること。どの観点をいくつ含めるかは自由。

- ・講義の内容に誤りや疑問点があれば、それを指摘し、自分の見解を述べる。
- ・話の流れ、式変形、論理展開などの観点から、講義の内容をより適切に改良する。
- ・講義で省いた（と思われる）話題や具体例、省略した詳しい式変形などを追加し、内容を充実させる。
- ・講義の内容を理解する助けとなる、観測/実験データ、計算結果、数値シミュレーションの結果などを追加する。文献の図などをコピーして用いてよい。
- ・講義内容に直結した物理現象、実験/観測結果、理論的考察などを考え、追加する。
- ・講義で導いた式を、じっさいに数値的に計算し、グラフとして含める。
- ・講義中に「これは宿題」と述べた点などを実行し、その結果を含める。
- ・その他

[注意]

- ・セクション番号 § (M-N) は必ず、講義のものに合わせる。ただし、その中の細目（講義では①、②、.. を使用）は、記法も順番も内容も、再定義して良い。
- ・自分の「追加部分」がわかるよう、工夫すること。そのように注記する、マーカーを用いて示す、など。ただし、大幅な再編成を行なった場合はこの限りではない。
- ・レポートに表紙は必ずしも必要ないが、表紙をつける場合、ページ数には含めない。
- ・文献のグラフなどはコピーして貼付けて良いが、それ以外はコピーを用いないこと。
- ・「まとめ直し」を電子ファイルの印刷版で提出する場合、ほぼ同一と判断できるレポートが複数あったときは不正行為と見なし、ともに不可とする。講義ノートのコピーに関しても同じで、他人のノートを借用してコピーしてはならない。

○ 提出期限：2009/8/3(月)、17h まで。

○ 提出場所：物理教務。

もしくは郵送にて、

〒113-0033 東京都 文京区本郷 7-3-1

東京大学 理学系研究科 物理学専攻 牧島一夫あて

表紙に「レポート在中」と朱書のこと。8/3 消印有効。